

〇〇年〇月〇〇日

携帯電話加入者数について

学籍番号〇〇

氏名〇〇

1. はじめに

近年の携帯電話市場の発展は目覚ましい。現在、携帯電話のキャリアと呼ばれる会社は、NTT ドコモ、au、ソフトバンクなどがあり、はげしい競争を行っている。本稿では、携帯電話市場の3社の契約数の推移を調べる。なお、e-Mobil はデータがないため、分析対象から除くこととした。

コメント [S1]: 節タイトルは、MS 明朝、フォントは 10.5、太字にしてください。

2. 携帯電話加入者数の推移

(ここに得られた知見を書くこと)

(例) 携帯電話の加入者については、3月に加入者数が増加することがわかった。また、各社の変化をみると、2010年以降は、ソフトバンクの増加がやや大きくなっているのに対して、2012年以降はNTT ドコモの増加量が小さくなっていることがわかる。

コメント [H2]: 知見を書く
図を見て、そこから得られる知見について2から3行程度で書いてください。

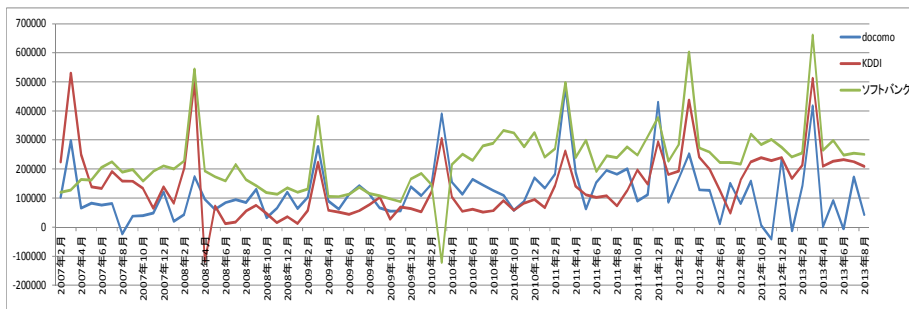


図 携帯電話加入者数の増加量

コメント [H3]: 図の貼り付け
「形式を選択して貼り付け」→「拡張メタファイル」で貼り付けてください。そうすると、Word ファイルの範囲にきちんと収まります。

3. 携帯電話の各社のシェア

(ここに得られた知見を書くこと)

(例) 2013年8月現在、NTT ドコモが46%でトップを占めており、続いてKDDI (au) が29%、ソフトバンクが25%で、ほぼ同じ状況である。ソフトバンクとauはアップルのiPhoneを販売していることがシェア拡大につながっているようであるが、現状では、NTT ドコモの優位は変わらない。

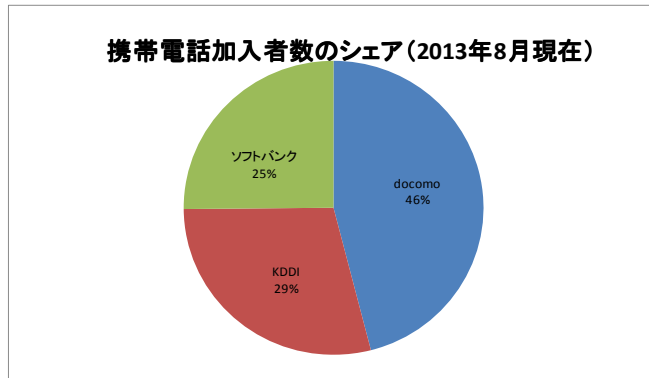


図 携帯電話加入者数のシェア (2013年8月現在)

4. まとめ

以下に、図から得られる知見について2~3行程度で書いてください。

(例) 携帯電話の市場については、ソフトバンクのシェアが拡大、KDDI(au)はほぼ一定、NTT ドコモは減少といった状態である。「NTT ドコモの独り負け」であるが、これはスマートフォンに対する戦略の違いがシェアに増減に表れたのではないかとと思われる。

以上

コメント [H4]: 図の挿入

「形式を選択して貼り付け」→「拡張メタファイル」で貼り付けてください。

円グラフには、必ず名称 (docomo などの表示) とシェアを挿入してください。エクセル上で円グラフを右クリックして「データラベルの追加」をクリックして追加する。さらに「データラベルの書式設定」で名称とシェアを表示する。